

令和5年度第3回若葉区支えあいのまち推進協議会

議事要旨

- 1 日 時 令和6年3月6日（水）14時00分～16時00分
- 2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室
- 3 出席者 委員 25名（うち代理出席 2名）（欠席委員数 6名）
傍聴人 0名
事務局 11名
- 4 議 題
 - (1) 各地区部会・令和5年度以降の年次計画書
 - (2) 若葉区の統一した試みの実施についての検討
 - (3) 次年度のスケジュール（委員の改選等）
 - (4) 推進協だより「しあわせのまち若葉 第28号」の発行
 - (5) 事例紹介
 - (6) その他
- 5 議事経過
 - ・委員定数31名のうち6名の欠席を確認して開会した。
 - ・進行の若葉区高齢障害支援課課長補佐より事務局職員の紹介を行った。事務局より会議の公開について説明があり、あわせて会議録や広報誌作成のため写真撮影、録音を行うことについて了承を得た。

議題（1）各地区部会・令和5年度以降の年次計画書

千葉市社会福祉協議会若葉区事務所 吉田所長より説明があった。
その後、駒野委員長の進行により、質疑応答及び意見交換を行った。

○縫部委員（代理：根津氏）

各地区部会の会員数を教えていただきたい。
→（事務局）手元に資料がないため、後日提出させていただく。

議題（2）若葉区全体の統一した試みの実施についての検討

若葉区高齢障害支援課 海老原主査より、資料に基づいて説明があった。
その後、駒野委員長の進行により、質疑応答及び意見交換を行った。

○金子委員

オンラインの活用に関し、大学とのタイアップ案については、オンラインといってもZOOMをはじめ色々なものがある。アプリを利用するのかどうかなど、具体的なところが知りたい。情報関連の学部もあるので協力はできると思う。コミュニティカフェでもオンラインを活用しているので、何らかの協力は検討できる。環境設定や運用など、協力といっても様々なものがあるので内容による。希望が多い場合は対応しかねる場合もあるので相談していきたい。

○藤本委員

LINEは使っているが、ZOOMの利用は経験がない。一度体験することで、どんなことができるか知ることができるのではないかと思う。そもそもどういったものかわからないため、人に説明することも難しい。一度体験する機会を持つのはどうか。

○事務局

年次計画表の共通項目をご覧いただきたい。項目⑥の目的として、地区の中で見守り活動を実施していることに加え、安心カード、緊急通報システムと複数の見守りを行うことを目指している。

項目⑪について、藤本委員からご指摘があったとおり、まずは推進協をZOOM会議で実施する、各地区部会の連絡会でZOOM会議、ハイブリッド会議を体験していただくといった試みを考えている。その上で令和8年度以降、各地区部会での運用を目指す。

また、項目⑬について、各地区部会におかれては現状把握を行い、互いの意見交換につなげていけたらよいと考えている。

議題（3）次年度のスケジュール（委員の改選等）

若葉区高齢障害支援課 海老原主査より、資料に基づいて説明があった。

その後、駒野委員長の進行により、質疑応答及び意見交換を行った。

○角田委員

任期については、現時点の委員が変わらない想定なのか。地区部会の会長の任期などもそれぞれ異なっている。事務局側の職員（市、社協）も人事異動があるのでは。

→(事務局) 直近の計画策定が3年後なので、その先については未定であるが、次回の計画策定を逆算して3年任期にしたいと考えている。長期的な展望としては難しいと思われる。また、地区部会の会長などは途中で交替することもあり、そういった場合は委員交替もあり得ると考えている。なお、この委員は各団体から推薦を受けた方が委員となっており、必ずしも会長に限るものではないため、会長を退任した後も団体の推薦によって推進協の委員を継続するという選択肢もある。

○駒野委員長

事務局の説明に基づき、任期を2年から3年に変更することよろしいか。

(反対意見なし)

議題(4) 推進協だより「しあわせのまち若葉 第28号」の発行

千葉市社会福祉協議会若葉区事務所 吉田所長より説明があった。

その後、駒野委員長の進行により、質疑応答及び意見交換を行った。

(意見なし)

事例紹介(千城台東南・金親地区部会)

千城台東南・金親地区部会田中委員より、有償の家庭ごみ排出代行事業及び買い物支援サービス事業の事例紹介がある。

「有償の家庭ごみ排出代行事業」

- 有償の家庭ごみ排出代行事業を始めた背景として、高齢化が進み、公営住宅の高い階に住んでいたり、戸建てでもゴミ捨て場まで行けない高齢者が増えてきている。これまでボランティアによる支援を行っていたが、ボランティアの高齢化や需要の増加で対応しきれっていないのが現状である。
- 近隣での助け合いもあるが、「ゴミを持っていてもらうのは申し訳ない」と話す者もあり、現状のボランティア活動を今後も維持するのは困難ではないかと考え、この事業を検討した。
- 千葉市長とのティーミーティングにて現状を説明した。千葉市では、ゴミ収集は収集業務課が窓口になっており、事業開始にあたっての助言を得た。本来市で回収可能なゴミは、決められた時間に決められた種類のごみを収集場所まで持って行くことが基本であるが、この事業では、①週二回午前中に、自宅までゴミを取りに行く、②事前に設置したダストボックス(地区に2箇所)に集める、③地域の回収業者がそのダストボックスからゴミを収集する」という流れになっている。可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみなどに対応している。
- 社協で事務、契約等の業務を担当してくれている。各世帯に収集に行くのは谷当町の事業所「mazekoze(マゼコゼ)」に依頼した。この事業所は(株)ベストサポートの生活介護事業所であり、障害のある人と支援スタッフが一緒にゴミ回収に行っている。障害のある人が社会参加するという点でも、事業所側にもメリットがあった。
- ダストボックスについては千葉市側が無料で設置した。一か所は和陽園、もう一か所は市営住宅の駐車場スペースに設置。回収したごみは、その2箇所のどちらかに入れてもらう。

- 料金については世帯ごと週1回収で1,500円/月である。週2回収希望であれば2,500円/月となる。通常のごみではないものの収集も希望されるオプションをつけると1,000円追加となる。
- 現状、4名の方を対象に収集を行っている。
- 今、無償でゴミ回収を行っているボランティアの従来の活動と、この事業が混在している形であるが、今後はボランティア活動が縮小せざるを得ないことから、この事業の利用者が増加するのではないかと考えている。
- 利用者の募集については、今後徐々に口コミで拡大するのではないかとと思われる。実際の運用の中で、不具合の点を修正し、より利用しやすい事業にしていきたい。

「買い物支援サービス事業」

- 買い物支援サービスについて、移動支援を開始した。千城台東エリアで試験的にスタートしたものである。こちらも和陽園の車および運転手を借り、買い物支援の希望者宅まで迎えに行き、カスミ（スーパーマーケット）で買い物をしたあと自宅に送るものである。社協のボランティアが1名サポーターとして同乗し、高齢者のバスへの乗り降りや、買ったものを運ぶ補助などを行う。
- このサービスはボランティア活動として無料で実施している。和陽園の協力があって成立しているものである。

（意見交換）

○前田副委員長

千葉市から無償で借りているダストボックスというのはパンフレットの写真のものだと思うが、今後、利用者が増えた場合は入りきらない場合もあるのか。

→（田中委員）現在は、粗大ごみも出ていないので、この大きさを4世帯分が問題なく入っているが、今後利用人数が増加したら入りきらないことも考えられる。

○駒野委員長

買い物支援について、この事例では社協の方が補助についているが、白井地区部会では自治会の人がついている。実際にどのような運用になっているのか。

→（山口主任主事）この買い物支援は当該エリアのみとなっており、補助の人は地区部会、民生委員、自治会などの中で活動に賛同していただいた人に実行委員会を組織していただき活動しているものである。

その他意見交換

○澤口委員

最近、千葉で小規模な地震が断続的に続いているが、地震に関する資料を配布した。先

日、能登で大きな地震があつて間もないことであり、他人事ではなく我が事として命を守ることを考えなければならない。少しでも被害を少なくするために、資料の中に減災のための備えを記載した。自分の避難場所はどこなのか把握していない人も多い。また道路でもブロック塀の崩壊などのおそれがあり、危険が大きい。自宅内でも家具の固定など備えが必要である。千葉市で家具固定の補助があることや、防災アドバイザーのアドバイスを受けることもできる。各々が危険性を考え、対策していかなければならない。

○平賀委員

植草学園大学のビオトープが、環境省の自然共生サイトに認定された。これは 30by30 という国家戦略（陸・海の 30%を 2030 までに保全するもの）にあるもので、国がその区域を指定したもの。大学では 4箇所が指定されており、国のデータベースに載ることとなった。若葉区という自然にあふれたところにキャンパスを設け、自然を大切にしたい地域交流の取組みを続けてきた活動が認められたことで大変うれしく思っており、この場で紹介させていただいた。地域の方々に今後もぜひ自然に触れる機会をもってほしいと思っている。

→（駒野委員長）ビオトープはどこにあるのか。

→（平賀委員）キャンパス内にある。地域の方の協力を得て整備したものである。

<その他の連絡等>

○事務局

現在の委員任期は令和 6 年 5 月で満了となる。委員の皆様方にはご多忙の中でご参加いただき御礼申し上げます。

来年度予定としては、後日事務局からご連絡申し上げます。

若葉保健福祉センター所長からの挨拶があった。

駒野委員長が閉会挨拶をして終了とした。